

鹿嶋市長 錦 織 孝 一 様

鹿嶋市議会議長 篠 塚 洋 三

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
委員長 山 口 哲 秀

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言について

第1波を抑え込み、一時期終息の兆しを見せていた新型コロナウイルス感染症ですが、東京を中心とし、全国で再び感染者数が増加傾向にあります。本県においても同様の傾向であり、茨城版コロナ Next の対策指針は、7月31日に Stage3 に引き上げられ、第2波への懸念が高まっている状況であります。

こうした状況の中、本市においても第1波の検証をし、第2波、第3波に備え早急な対策が必要になっております。そのため、本市議会でも新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において、感染症予防対策や経済支援等について調査・研究し、下記のとおり提言を取りまとめました。

執行部におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策の事務等によりご多忙と思われませんが、内容を十分検討の上、新型コロナウイルス感染症に関する対策を迅速に行っていただくようお願い申し上げます。

記

1. 感染症予防対策・医療体制について

- ①市庁舎に、サーモグラフィーカメラ等を設置すること。
- ②窓口業務のオンライン化を進めデジタルに移行し、来庁者からの感染リスクを減らすこと。
- ③窓口の感染予防（マスク着用やシート）により、互いの声が聞き取りにくいので、対策を検討すること。
- ④マイナポイント事業等により、マイナンバーカードの発行申請が増加し、窓口が密になることが想定されるため、対応を検討すること。
- ⑤家族が感染した子どもを一時的に預かれるような仕組みを検討すること。
- ⑥高速バス等の公共交通事業者へ感染予防対策の徹底を申入れするとともに、支援を検討すること。
- ⑦三密を避ける分散避難の為、避難所の増設とその避難経路を検討すること。

- ⑧自治会や自主防災組織と連携し、地域ごとの避難訓練を実施するとともに、避難体制を構築すること。
- ⑨各避難所の備蓄品配置計画を速やかに策定し、数量を十分に確保すること。
- ⑩PCR検査を必要すると人が速やかに検査を受けられる仕組みを検討し、体制を充実させること。
- ⑪避難所における感染予防対策については、様々な情報ツールを活用して全市民に周知すること。

2. 経済支援について

- ①Go Toキャンペーン事業として、観光、飲食、イベント・エンターテイメント、商店街のキャンペーン事業をそれぞれ最大限活用すること。また、観光キャンペーンでの誘客対策を創意工夫すること。
- ②宅配業者支援として、接触機会を減らし宅配便の再配達削減や利用者の利便性を向上させるため、宅配ボックス設置の助成を検討すること。
- ③事業者の感染予防対策支援の為、次亜塩素酸水等の消毒液の配布を検討すること。
- ④コロナ禍での働き方改革としてテレワーク等が注目されている。鹿嶋市への移住やサテライトオフィスとしての利用を推進するため、空き家・空き店舗の改修整備費用支援を検討し、積極的にPRを行い、併せて定住の促進を図ること。

3. 教育環境について

- ①休業期間中の学習の遅れや学力格差の解消に取り組むとともに、民間ボランティア等を活用し教職員の負担軽減に配慮すること。
- ②今後見込まれる休業に備えて、速やかにオンラインによる授業スタイルを構築するとともに、家庭の経済的負担にも配慮すること。